

# 当院における感染管理に関する 基本的な考え方

当院では、病院に関わる全ての方々を感染から守るために、標準予防策を基本とした感染対策と、感染経路別予防策を実践しております。新興感染症等対策に関しては地域連携医療施設の協力のもと、当院で実施可能な対応を調整しております。また、院内にて感染症が発生した場合には、速やかに感染防止対策の実施と評価を行い、感染拡大防止に努めます。

## 1. 感染管理の組織

院内感染対策委員会を毎月1回定期開催して、感染管理に関する事項を審議決定する。また、必要時には臨時開催とする。感染防止対策部門を設置し、感染制御チーム(ICT)によって院内ラウンドで必要な指導を行い、感染対策状況の評価、感染対策に努めてまいります。感染防止対策部門は、感染対策に関する情報交換や適切な取り組みについて、連携する医療機関(横浜旭中央総合病院)への相談を行っています。

## 2. 職員の研修

感染防止対策の一環として、全職員に対して感染対策に関する研修会を年2回以上行っています。

## 3. 微生物の検出状況、抗菌薬適正使用状況の評価

微生物検査の結果から、微生物の検出状況を1回/週にて把握し、必要に応じた感染対策に努めてまいります。また、薬剤に対して耐性を持つ菌が増えないようにするために、必要以上に抗菌薬を使用しないよう医師や薬剤師、感染管理認定看護師による適切な監視活動を行っています。

## 4. 院内感染発生時の対応

院内感染の発生、またはそれが疑われる場合には、感染拡大防止に向け速やかに対応します。また、届出義務のある感染症患者が発生した場合は、法律に従い行政期間に報告していく。更に、連携する地域の医療期間や所轄の保健所と共に適切な対応を行います。

## 5. 院内感染対策の調整

感染防止対策推進のため、ガイドライン等を参考に当院の実情に合った感染防止対策マニュアルを整備し、職員への周知徹底を図っています。また、マニュアルは最新の知見を考慮して随時見直しを行っています。

## 6. 患者さまへのお願い

院内感染発生にならないようにするための方策の一つとして、マスクの着用、アルコールの手指消毒等の協力をお願いいたします。また、感染対策上、面会を制限する場合があります。

## 7. 感染対策の地域連携

外部の医療機関と連携し、感染対策活動に関する評価を受けています。当院は、感染防止対策向上加算3算定し、年4回加算1施設(横浜旭中央総合病院)が開催するカンファレンスに参加し、年1回新興感染症の発生を想定した訓練を行っております。また、連携施設から求めがあれば施設に赴き感染対策に伴う助言、施設内研修の開催を実施しています。